

8月22日（火）に開催された実践研究部会での活動を紹介します。

今回の参加者のみなさん

瀧田 健司先生（神沢中）、濱地 光大先生（富士中）、丹羽 良平先生（有松中）
井上 将孝先生（笹島中）、小比賀 正規先生（扇台中）、吉岡 隆先生（楠中）
樽見 宗先生（有松中）、高羽 幸さん（名古屋市科学館）

名古屋市科学館の紹介

名古屋市科学館の学芸員（天文）をされている高羽さんから、名古屋市科学館の事業についてご紹介いただきました。

名古屋市科学館のホームページには、展示物をオンラインで見回れるコンテンツがあり、それぞれの解説も鮮明に読むことができます。実際に行くことには及びませんが、授業で有効活用できると感じました。



【科学館について紹介する様子】

また、当日の太陽や月の動き、星空や太陽のリアルタイム画像など、授業でも活用できそうな情報が載っていることも紹介していただきました。現在、名古屋市科学館では、小学校や中学校との連携を模索中だそうです。例えばプラネタリウムでは、天体の学習においてその当日の夜空を観察して解説を聞いたり、野外学習の事前学習として活動日の中津川や稲武の夜空を観察したりすることもできるそうです。個別の相談に乗っていただけるようなので、ぜひご活用ください。

秋の授業公開について

秋の授業公開の授業者である扇台中学校の小比賀正規先生より、「並び替え課題」を利用し、音の高さに注目させる授業の提案がありました。

その中で、音の高さを客観的に判断するための振動数を計測するアプリについて紹介していただきました。フリーのWebアプリはたくさんありますが、広告が出てしまうため授業での利用には望ましくありません。その解決策として、ChatGPTを利用してHTMLのアプリを自作することが有効であることが分かりました。アプリには細かい要望を盛り込むことも可能で、他の授業でも応用可能であると感じました。

授業公開を参観したい方は、これまでの参加者に連絡するか、右の二次元コードのフォームから参加表明してください。詳細をご連絡します。



名理会 秋の授業公開

令和5年10月25日（水）午後 場所：扇台中学校 授業者：小比賀正規先生
実践単元：中1「単元3 身近な物理現象 2章 音の性質」